

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 5 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	分野／ページ (未来計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① 〔 KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 〕		外部検証委員の検証	
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
ランドスケープ計画を核とした地域の担い手・関係人口創出計画	地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)		ランドスケープ計画を核とした地域の担い手・関係人口創出事業のKPIに関する検証 →		20,388,987	①地域の保全活動に取り組んだ人数 2,689人	①2,789人	①2,863人	A このまま継続	①環境保全活動、ボランティア活動、ワークショップを通じて各地区の美化活動の意識が高まったことにより、目標値を上回ることができた。引き続き、町内景観の保全活動を町全体で行う仕組みづくりを進める。 ②KPIは未達成だったが、前年対比で1,448人の増となり、順調に推移している。引き続き町外会員＝関係人口の増加に努める。 ③イベント開催月には新たにLINEでの配信や県での広告配信等を行ったこともあり特にアクセスが増えており、目標値を大きく上回る実績だった。引き続き有効な情報発信に努め、移住者や関係人口の増加を目指す。 ④次頁【花のまちづくり事業】の検証結果に同じ。	A このまま継続 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。
						②masipoカード会員数(町外) 900人	②16,400人	②11,140人				
						③移住定住・関係人口ワンストップサイト トップページ アクセス数 6,153件	③6,903件	③9,764件				
		資産形成 ／ 72	【ランドスケープ計画推進事業】 ランドスケープ評議会、各団体、地域と連携を深める中で、実施計画へ向けての詳細な検討と調整を行う。各地区の景観保全や美化活動の意識啓発ため、各地区で説明会・景観まちづくりワークショップ・学校教育との連携による農業体験学習・農村景観の美化活動を行うなど、町内景観の保全活動を町全体で行う仕組みづくりを進める。  【担当課:建設課】	■ランドスケープ計画推進事業 ・益子地区、田野地区、山本地区、小宅地区でワークショップを開催し、3月にランドスケープ計画推進委員会を開催した。  【事業費】7,612,000円 委託料		④花祭り来場者数 70,000人	④79,000人	④104,094人				

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 5 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	分野／ページ (未来計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① ( KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 )		外部検証委員の検証	
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
【再掲】 ランドスケープ計画を核とした地域の担い手・関係人口創出計画	【再掲】 地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)	経営体 ／ 82 ・ 暮らし ／ 37	<p>【関係人口創出事業】 里山風景の維持・継承活動へ参加するツアーを開催し、町内のキーパーソンと交流し、継続的な参加者を拡大すると共に、町内の受入先の自主的なツアー企画・運営を促し、翌年度以降の自走につなげる。</p> <p>【担当課:企画課】</p>	<p>■関係人口創出事業 ・里山風景の維持活動をはじめとした地域活動に興味を持ってもらい新たな関係人口創出を図るため、東京圏在住者向けにワークショップを開催した。 ・上記イベント及び今後の情報発信に向けて町内在住者6名にインタビューを実施した。インタビュー内容は移住情報誌に掲載し、県外施設やイベント等で配布した。 ・移住検討者が町内のキーパーソンと交流する機会等を設けるオーダーメイド型の町内ツアーを開催した。 ・実績(回数・参加人数) ワークショップ・・・1回・14人 ツアー・・・4回・8人</p> <p>【事業費】1,328,000円 委託料・報償費</p>	【再掲】 20,388,987	【再掲】 ①地域の保全活動に取り組んだ人数 2,689人	【再掲】 ①2,789人	【再掲】 ①2,863人	A このまま継続	<p>ワークショップでは、身近なテーマとして「私にとっての「ちょうどいい暮らし」」について参加者同士の意見交換や町の魅力紹介を行い、町との接点をつくるきっかけづくりができた。 オーダーメイドツアーについては、利用者が移住につながったケースもあり、引き続き実効性のあるツアーが企画できるようキーパーソンの確保等の準備や、制度周知に努めていく。</p>	A このまま継続 5委員	・担当課による評価及び検証に異論なし。
		暮らし ／ 37	<p>【ワンストップ窓口・WEBサイト関連経費】 2年間で蓄積されたノウハウや前年度のマーケティング調査を踏まえ、移住サポートセンターや移住関連情報ワンストップサイトでは、よりニーズに沿ったサービスを提供することで、リピーターの増加と新たな参加者の獲得を図るとともに、本町での暮らしの魅力を伝える冊子を新たに作成し、町内施設や東京圏のイベント会場等で広く配布することで、関係人口や移住希望者の創出を図る。</p> <p>【担当課:企画課】</p>	<p>■ワンストップ窓口・WEBサイト関連経費 ・昨年度に引き続き、道の駅ましこ内に移住サポートセンターを設置・運営するとともに、移住関連情報等のワンストップサイトを運営し、相談対応・情報発信を行った。また、本町での暮らしの魅力を伝える移住情報誌を新たに作成し、県外施設やイベント等で配布した。 ・東京圏在住の20～30歳代や、住まいづくり奨励金等の交付者へのアンケート調査を行った。 ・相談件数(R5) 【道の駅:95件】【役場:35件】【イベント:38件】</p> <p>【事業費】2,189,935円 消耗品費・燃料費・通信運搬費・委託料・車両リース料・移住フェア負担金・ワンストップサイト賃借料等</p>		②masipoカード会員数(町外) 900人	②16,400人	②11,140人	A このまま継続	<p>窓口での移住相談件数は、昨年度に比べると2割程度減少したが、移住セミナー等のイベントも含めた相談件数は1割減以内にとどまった。また、コロナ禍前の窓口相談件数は90件前後であったため、高水準を維持できているといえる。 引き続き移住情報誌配布による情報発信、移住相談やオーダーメイドツアーによるきめ細やかな対応に努めるとともに、関係人口創出事業の実施や町内受入団体の育成により、関係人口の創出を進めていく。</p> <p>※参考:相談件数(R4) 【道の駅:116件】【役場:44件】【イベント:23件】</p>	A このまま継続 5委員	・地道な努力によって、成果が出ると予想される。 ・上記以外については担当課による評価及び検証に異論なし。
		暮らし ／ 44	<p>【花のまちづくり事業】 2年目のマーケティング調査結果に基づいた策定プランの実現を進める。 前年の収益化の実装のPDCAサイクルの見直し。</p> <p>【担当課:生涯学習課】</p>	<p>■花のまちづくり事業 ・菜の花・桜、ひまわり、コスモスの3大花祭りでは、昨年度はコロナ禍の影響もあり、駐車場及び簡易的な展望台設置のみ行ったが、本年度はコロナ前と同様に物販やステージイベント等も実施した。 ・町民のつどい時に花フェスタ2023を行い、町内産の花の展示を実施した。 ・花いっぱいコンクールを開催。一般の部17団体、学校の部10団体参加。</p> <p>【事業費】9,259,052円 花のまちづくり実行委員会交付金</p>		③移住定住・関係人口ワンストップサイト トップページ アクセス数 6,153件	③6,903件	③9,764件	A このまま継続	<p>コロナ禍から回復し、3大花祭りのイベントを以前のように開催し目標値を大きく上回る来場者数となった。 ひまわり祭においても、野木町、上三川町と連携して開催することができた。 令和6年度からは、事業自体を観光商工課に移管し、更なる収益化の検討を行う。</p>	A このまま継続 5委員	・地域団体との連携がよくとれた結果としての成果であると思う。 ・上記以外については担当課による評価及び検証に異論なし。

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 5 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	分野／ページ (未来計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① 〔 KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 〕		外部検証委員の検証	
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
購買手法の変化に対応するための「独自モール型ECサイト」を核とした産業支援計画	地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)	産業 ／ 53	<p>購買手法の変化に対応するための「独自モール型ECサイト」を核とした産業支援事業のKPIに関する検証 →</p>									
			<p>【「ましこマーケット・クラフト」サイト販売促進等事業】 「ましこマーケット・クラフト」サイトについて、高額な販売品の売上が向上するための、写真の表示方法を見直し、販売品の詳細な部分をアップで見ることができる詳細な追加や販売品を回転させて全方向から見ることができる機能の追加、現実的に購入する予定のものを自分の部屋等に表示して見ることができるAR等の導入を行う事業</p> <p>【事業費】3,000,000円 交付金</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■「ましこマーケット・クラフト」サイト販売促進等事業 ・サイトについて、町内事業者と連携しサイトの目玉となる商品の開発を行った。さらに販売強化に向け、InstagramでのPRを実施した。</p> <p>【事業費】3,000,000円 交付金</p>	8,300,000	<p>①「ましこマーケット」販売手数料 0万円</p> <p>②町内総生産額 538億円 (H29)</p> <p>③益子焼総販売額 23.0億円 (R1)</p> <p>④市町村別農業算出額 34.0億円 (H30)</p>	<p>①449万円</p> <p>②__億円 (R3) (R2は507億円)</p> <p>③25億円 (R4)</p> <p>④36.6億円 (R4)</p>	<p>①46万円</p> <p>②20億円 (R4)</p> <p>④29億円 (R4)</p>	<p>改善・見直し</p> <p>A このまま継続 5委員</p>	<p>・ECサイトのアイテム数が少ないと思われるので、原因を追究し、さらなる事業推進を図る必要がある。</p> <p>・東日本大震災以降、人々の食器等に対する考え方が変わったという人達が多く見られる中、陶器の販売数を伸ばすのは大変だと思うが、頑張ってもらいたい。</p> <p>・上記以外については担当課による評価及び検証に異論なし</p>		
			<p>【「ましこマーケット・フード」サイト販売促進等事業】 「ましこマーケット・フード」サイトについて、令和4年度に実証を行った生鮮食品(露地野菜・西洋野菜)等の販売について、出荷者からの商品の受領、在庫管理、保管、購入者への配送等、一連の販売事務が一定数の注文に耐えられるようにするため、保管庫や流通のための態勢整備等をする事業。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■「ましこマーケット・フード」サイト販売促進等事業 ・サイトについて、販売促進に向けたデータ分析、戦略コンサルティングを実施した。</p> <p>【事業費】500,000円 交付金</p>					<p>A このまま継続 1委員</p> <p>B 改善・見直し 4委員</p>	<p>・データ分析を行い、分析に基づいた事業体制の整備を行っていくべきである。</p> <p>・上記以外については担当課による評価及び検証に異論なし</p>		

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 5 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生関連制度名	分野／ページ (未来計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① ( KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 )		外部検証委員の検証	
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
【再掲】 購買手法の変化に対応するための「独自モール型ECサイト」を核とした産業支援計画	【再掲】 地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)	産業／53	<p>【ECサイトを契機とした観光客誘引事業】 「ましこマーケット」の売上データを分析し、消費者動向と売上が伸びた商品の傾向と対策の洗い出しを行い、販売促進のためのデータ作成と顧客の消費が増える仕掛けや、そのための施策の立案や制度設計を行う。加えて、ECサイトを契機として益子町に実際に足を運んでもらう為に、益子のイベント情報の告知や購入者がマシポカード(益子町町内共通ポイントカード)の会員になってもらう施策、メルマガ・SNSだけでなく公式アプリの開発等も行い、従来の観光客とは属性の異なる、ECサイトの顧客を新たな観光客として誘引する事業。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■ 出店者フォローアップ事業 ・サイトのデータ分析を行い、ターゲットを選定した上でSNSでのマーケティングを実施した。 Instagramでの広告に力を入れ、アンケートによる分析を行った。</p> <p>【事業費】3,500,000円 交付金</p>	【再掲】 8,300,000	<p>【再掲】 ①「ましこマーケット」販売手数料 0万円</p> <p>②町内総生産額 538億円 (H29)</p> <p>③益子焼総販売額 23.0億円 (R1)</p> <p>④市町村別農業算出額 34.0億円 (H30)</p>	<p>【再掲】 ①46万円</p> <p>【再掲】 ①449万円</p> <p>②__億円 (R3) (R2は507億円)</p> <p>③20億円 (R4)</p> <p>④29億円 (R4)</p>	<p>A このまま継続</p> <p>A このまま継続</p>	<p>データ分析からターゲットを選定し、ターゲットにあったSNSでの投稿や広告キャンペーン等マーケティングを行ったことにより、観光客誘引へ繋がった。今後もターゲットに相性の良いSNSでのマーケティングを行っていく。</p> <p>アーティストによる事業実施時に栃木県窯業技術支援センターの生徒に協力を得る機会を設けたことで、町内の若手陶芸家に対して効果的にアピール、参加を促すことができた。 引き続き、若手陶芸家への育成に繋がる事業を進めていくとともに、陶芸(工芸)以外の人、分野とも関係を持ち連携することで相乗効果となるように事業を進めていく。</p>	<p>B 改善・見直し 5委員</p> <p>A このまま継続 4委員 B 改善・見直し 1委員</p>	<p>・ECサイトをさらに充実させ、ECサイト、SNSプロモーション、観光客誘引の3つを連動させる必要がある。</p> <p>・上記以外については担当課による評価及び検証に異論なし</p> <p>・益子焼の伝統を後世につなげるよう若手作家の育成は大切であるし、さまざまな分野との連携で新たな市場開拓を期待したい。</p> <p>・新商品開発するためデザインは非常に大切な要素である。デザインを学ぶ機会があるといいと思う。</p> <p>・上記以外については担当課による評価及び検証に異論なし</p>	
		産業／43	<p>【新商品開発のための人材育成事業】 益子町の陶芸家に対して、国内外の優れたアーティスト(工芸作家)を招聘し、その技法を学ぶワークショップを行う。益子町以外で活動しているアーティストを講師に迎えることにより、益子の粘土や釉薬等の魅力・特性を生かした新たな視点に触れることができ、益子町の陶芸家のレベルアップを図り、新商品の開発につなげていく。 事業3年目は、1年目、2年目のアーティストによる事業成果を分析検証し、より効果が期待できるアーティストを選定し事業を実施するとともに、成果を公開する展示を行う。</p> <p>【担当課:観光商工課】</p>	<p>■ 新商品開発のための人材育成事業 ・国内陶芸家(アーティスト)2名、国外陶芸家(アーティスト)1名による事業を実施。町内陶芸家のレベルアップを図るワークショップや講演会を行い、その内容については動画を作成しWEB上でも公開した。また、滞在アーティストによる成果を公開する展示も行った。</p> <p>【事業費】1,300,000円 (交付対象事業費1,330,195円のうち1,300,000円に充当) 委託料</p>								

地方創生関連事業に関する実績検証資料 【 令和 5 年度 】

担当課・外部検証委員の評価 A:このまま継続 B:改善・見直し C:廃止・終了

地域再生計画名	地方創生 関連制度名	分野/ ページ (未来 計画)	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費 (単位:円)	総事業費 (単位:円)	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証 ① 〔 KPIに関する検証については、 計画申請課が総括 〕		外部検証委員の検証	
						指標(開始時)	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
益子町地区別戦略策定支援計画	地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)	経営体 / 86	<p>【地区別戦略策定支援事業】 地区別戦略策定支援業務 ・前年度の事業成果の補足と最新の人口動態把握のため、改めて区域ごとに人口動態の現状分析と将来推計を行う。 ・地区別戦略の策定に向け、地域住民の理解を得ながらモデル地区の選定を行い、地域住民とともに地域の強み・弱みを把握し、強みを生かした持続可能な地域づくりに向けた取組を考えるワークショップ等を行うなど、地区別戦略づくりを支援する。 ・並行して、戦略策定の意義や優良事例の紹介等を行うと共に、次年度のモデル地区の募集を行う。</p> <p>【担当:企画課】</p>	<p>■地区別戦略策定支援事業 ・人口データ等の集約・整理 ・地区人口の現状分析、将来予測、定住増加シミュレーション ・自治会長合同研修 ・地域おこし協力隊へのヒアリング ・大羽地区地域懇談会(3自治会合同)の開催 ・大羽かわらばん発行</p> <p>【事業費】6,872,419円 委託料</p>	6,872,419	①人口の社会動態(20~30歳代) △120人	①△65人	①△61人	B 改善・ 見直し	<p>①前回に引き続き、東京圏への一極集中の改善傾向と若年外国人労働者の流入の増加により、目標を達成できた。引き続き第3期未来計画に沿った施策を総合的に展開していく。 ②自治会長への周知などの地固めに引き続き注力しつつ、大羽地区で3自治会合同の地域懇談会を実施した。新たな課題等の抽出ができ、機運も高まってきたが策定までは至らず、KPIが達成できなかった。次年度以降は大羽地区の引き続きの支援と新たな地区での話し合いの場づくりを行う。 ③住まいづくり奨励金などで支援を行っているが、KPI達成には至らなかった。引き続き支援するとともに、大羽地区に関する暮らしの便利帳の作成や、3月に作成したパンフレット等により移住定住を促進する。 ④自治会活動の参加を希望しない世帯が増えたことなど、退会者や未加入者の増加を食い止め切れなかった。自治会加入の情報発信等により、自治会や地域づくり活動への参画に対する意識高揚を図る。</p>	A このまま 継続 1委員  B 改善・ 見直し 4委員	<p>・高齢者の自治会退会対策や若い世代の加入を促進するための魅力の発信など、町全体での取り組み見直しも必要だが、各自治会ごとに検討してもらうことも必要ではないかと思う。 ・若年外国人労働者は今後も増えることが予想できる。外国人の益子町定住についてのニーズや問題点の把握、今後の施策について検討してみる価値があるのではないかと。 ・数字的には目標を達成していないが、努力によってこの数字まで到達したと考える。 ・自治会活動がコロナ禍の影響により低迷し、いまだ続いている。自治会も役場と協力し地域づくり活動の推進を積極的に進めてほしい。 ・上記以外については担当課による評価及び検証に異論なし</p>